資料4

首都圏全日制普通科高校における インクルーシブ教育推進体制づくり

文部科学省研究開発指定
高等学校における個々の
能力・才能を伸ばす特別支援教育

粘り強い生徒指導と社会接続を目指す支援教育

首都圏全日制普通科高校通級支援の1モデル

神奈川県立綾瀬西高等学校

目次

1 本校の概要と教育課題

2 支援教育の土台作りとビジョン

リソースルームとは

3「自立活動」への新たな挑戦 ★★

３つの新しい試みと課題

4 今後の4つの課題 ★

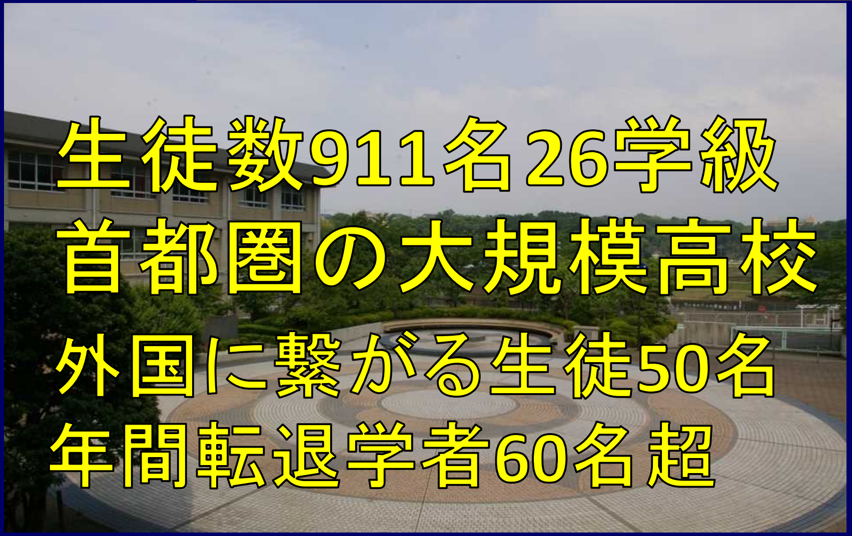
アセスメントと自尊感情の尊重

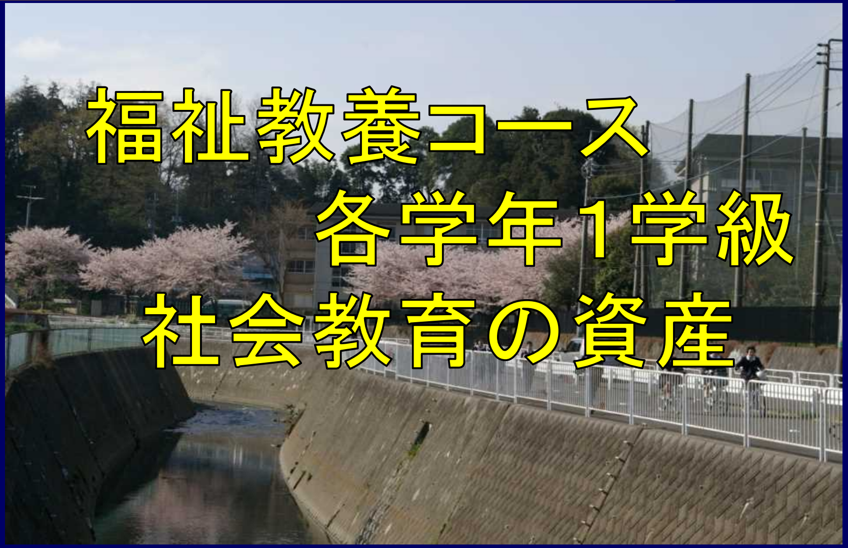
校内体制の整備と外部支援の活用

高校通級指導と進路保障

所属級の授業改善は進められるか

1、本校の概要と教育課題





本校の支援教育推進の資源は何か

□規律指導の徹底　　教職員全員で当たる！

□福祉教育の推進　社会施設との連携実績

■若返る教職員構成　…前例主義・慣例固執無し

■特別支援学校経験者の複数配置

　授業の視覚化　ユニバーサルデザイン化

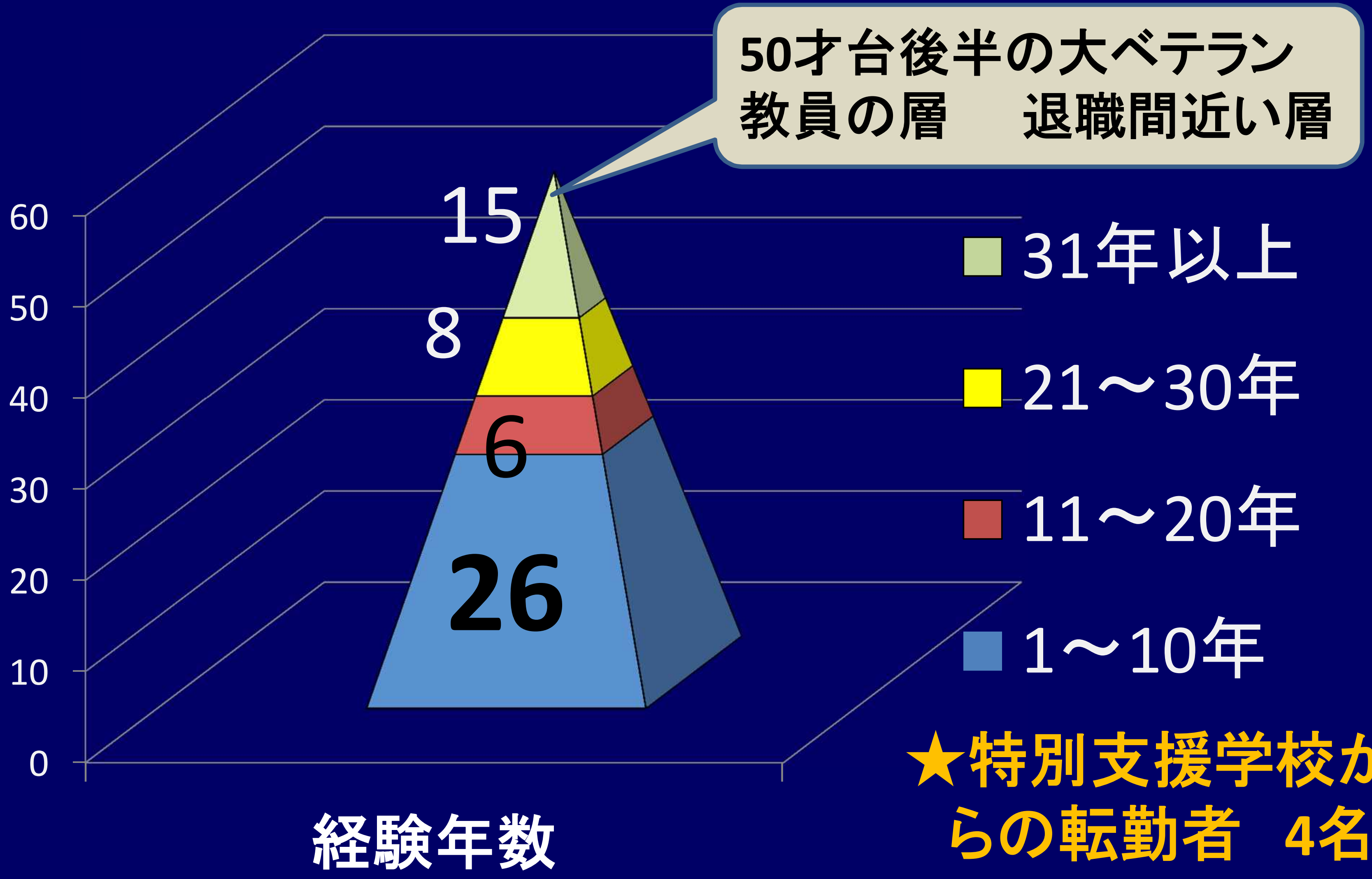
□長年の保健室登校支援の実績

　医療機関・児童相談所等との連携

□朝学習　遅刻指導　規律指導　平成25年～

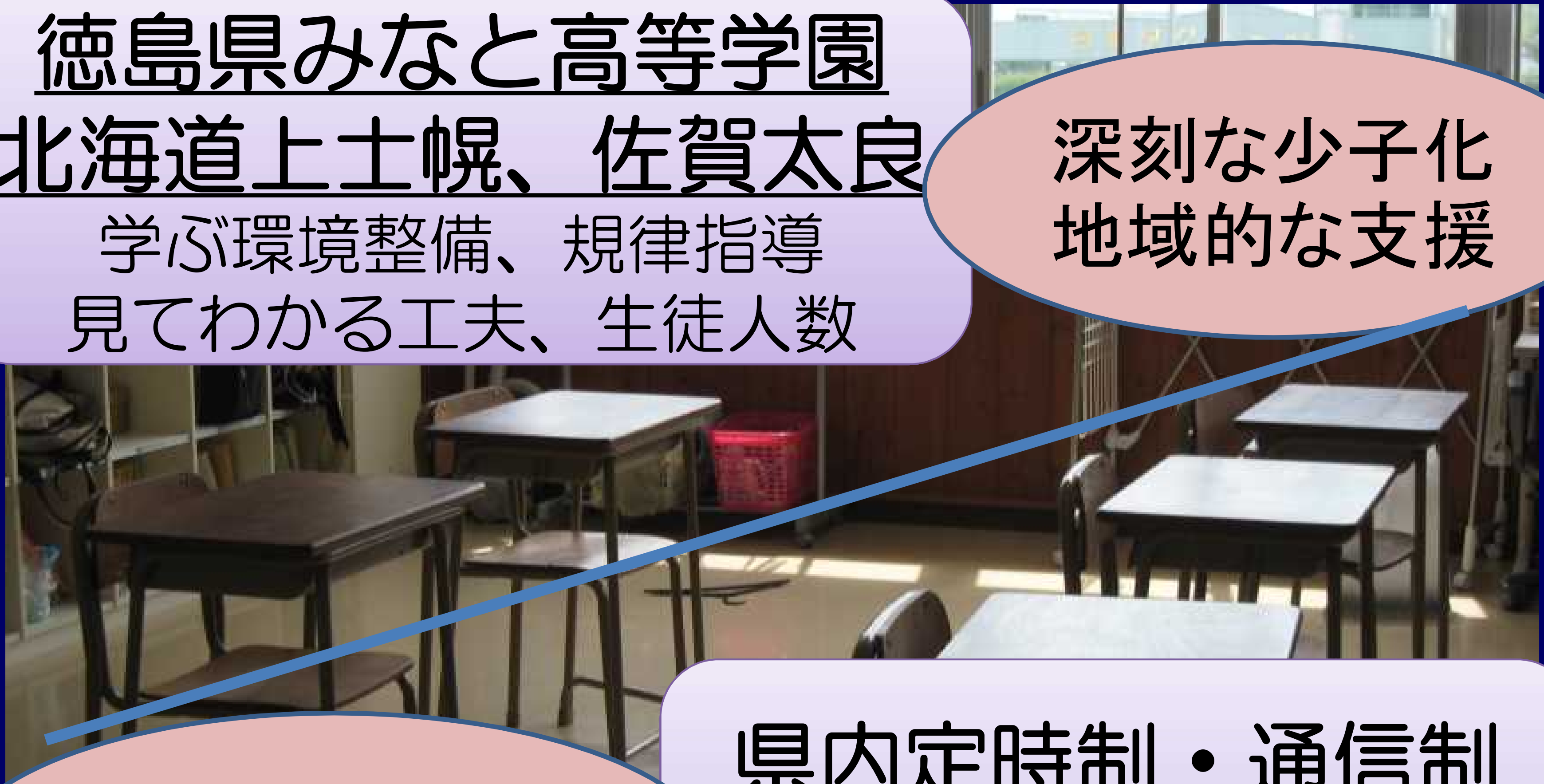
□在校通算経験13年目の校長

本校の職員構成（平成27年度）



★特別支援学校からの転勤者　4名

2、支援教育の土台作り　ビジョン

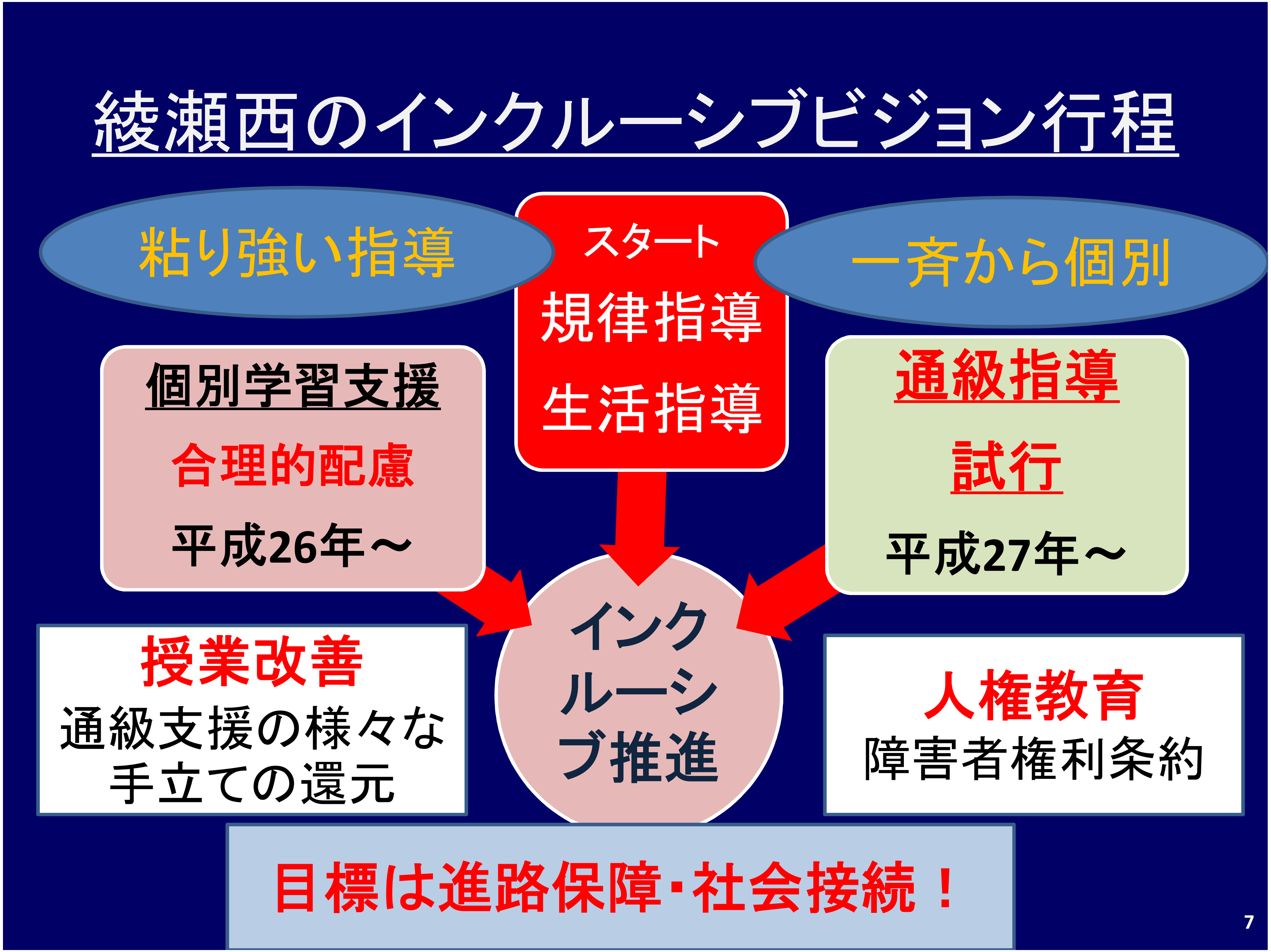


徳島県みなと高等学園
北海道上士幌、佐賀太良
学ぶ環境整備、規律指導
見てわかる工夫、生徒人数

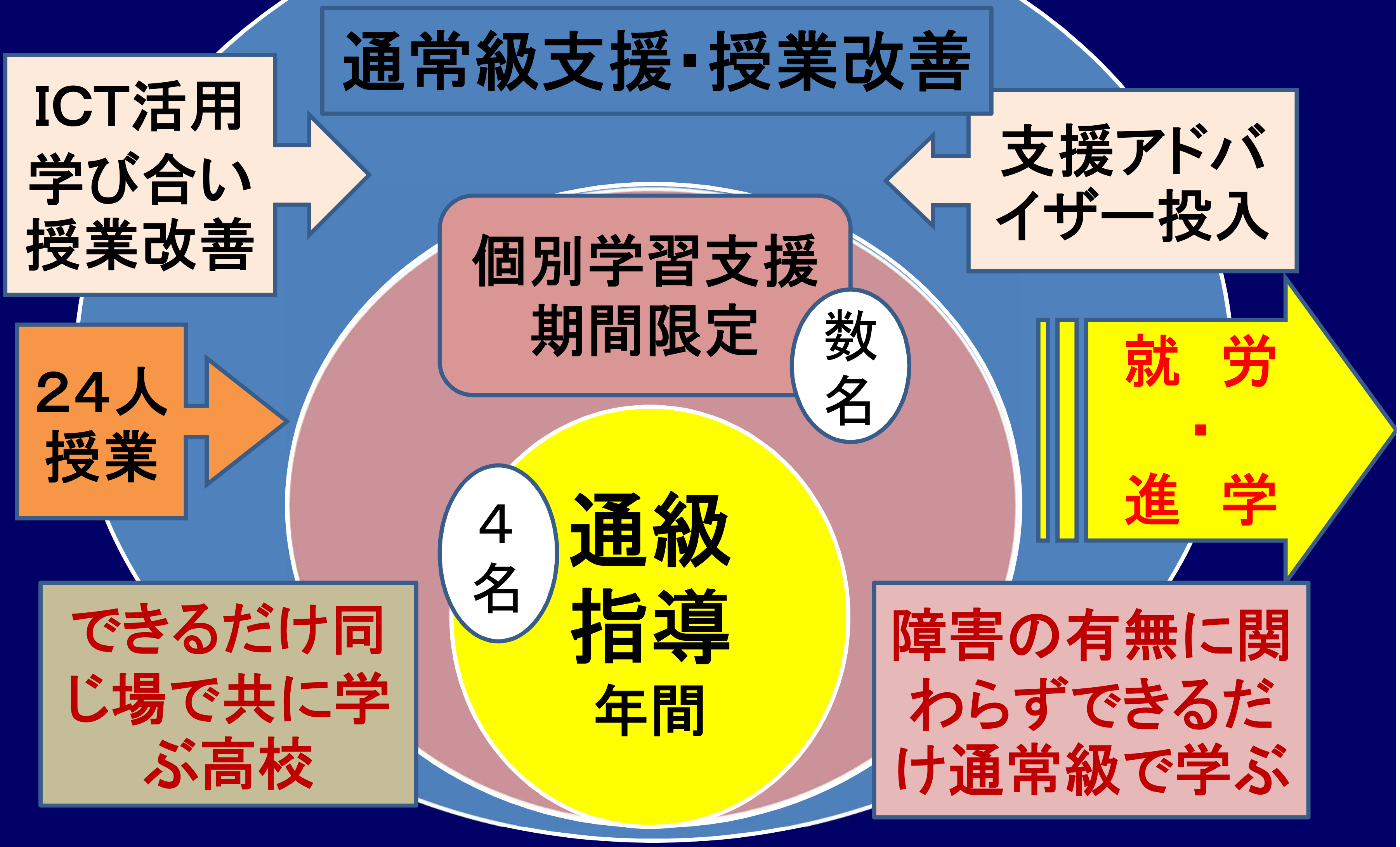
深刻な少子化
地域的な支援

落ち着いた環
境と学習支援

県内定時制・通信制
学ぶ環境の整備、個別指導
適正生徒数、寄り添い指導


綾瀬西のインクルーシブビジョン行程
粘り強い指導
スタート
規律指導
生活指導
一斉から個別
個別学習支援
合理的配慮
平成26年～
通級指導
試行
平成27年～
インクルーシブ推進
授業改善
通級支援の様々な手立ての還元
人権教育
障害者権利条約
目標は進路保障･社会接続！

綾瀬西のインクルーシブ教育概念



職員室の近くに配置する

リソースルーム
通級指導の場

職員室

生徒の入りやすさ、明るい環境
通常教室からある程度の距離

リソースルーム
週10時間+αの活用
エアコンとICT環境

平成26～27年度の「リソースルーム」での個別支援の成果と実績

１　落ち着いて個別学習、マイペース学習ができる環境を提供できた

２　単位履修や修得に結びつけることができた

「合理的配慮」という新しい概念の浸透

リソースルームの学習を「合理的配慮」として進級認定に結びつける　→場の論理

３　自立アドバイザー、キャリアコンサルタント等外部支援活用で生徒を支えることができた

3､「自立活動」への新たな挑戦

氷山の下に隠れる背景への挑戦　本年度

◎自己理解を深め、自己肯定感をはぐくむ

①自己特性の理解を深める…自分の長所・苦手

②自己肯定感、有用感、達成感を育む

◎自立を図るために「これだけは必要」な知識，技能，態度及び生活習慣を養う

③分らないことを解決する能力を育てる

◎丁寧な個別のキャリア教育の方向性

④言葉づかい　場を読む力　会話力　プラス思考

高校通級指導で進路保障に結び付ける

自立活動に充てる科目の設定

2年通常科目	10単位※	通級指導（領域）8+(2)単位	3年通常科目	8単位	通級指導（領域）8単位
コミ英Ⅱ	4	ﾘﾍﾞﾗﾙﾍﾞｰｼｯｸⅠ	コミ英Ⅲ	4	ﾘﾍﾞﾗﾙﾍﾞｰｼｯｸⅡ
数学A	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	自選A	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ
古典A	2	ｿｰｼｬﾙｽﾀﾃﾞｨⅠ	自選B	2	社会参加 社会福祉体験
課外等	(2)	社会参加 社会福祉体験			

1年必履修科目に手を付けない

通常教育課程の一部に置き換える措置　８単位上限

通級個別指導の内容【本人希望　自尊心尊重】

A
・学習のつまずきが大きい　　一斉授業×
・特に英語のつまずきが大きい

B
・学習のつまずきが大きい　　福祉に興味
・コミュニケーションに難しさがある

C
・発達障害の診断あり　　成績は優良
・コミュニケーションに難しさがある

	リベラルベーシック④	コミュニケーション②	ソーシャルスタディ②	社会体験夏季等
A	○	ー	ー	ー
B	○	○	○	○
C	ー	ー	○	○

リベラルベーシックⅠとは　授業内容

国①・数②・英①の基礎の振り返りなどを通して学習方法を獲得する（自己認知特性）領域

・これまでの学習における自分の苦手な部分に気づくと同時に、得意な部分を意識できるようにする。

・自立に向け、日常生活や判断が求められる場面で必要とされる基礎的知識に気づくようにする。

＊自己理解深める　→これなら分かる　ここがダメ

＊自己肯定感を育む　→対話型　肯定発問　適速

＊自立を図るために必要な知識の習得

●「共に学び共に育つ教育」　→教職員も学ぶ！

リベラルベーシック

数・国・英

内容

二桁加除、満点！
三桁加除、挑戦！
およその数とは？
乗せることが肝！

社会参加に必要な基礎学力の向上や自己理解・特性理解を活用できる能力を高める領域

ノート筆記は限界！
英　月名・曜日・数…
単語なりたち調べ
入国審査ロールプレイ

体調不良　忘れ物
筆写の難しさ
書字より聴覚刺激
アイパッドに興味

コミュニケーションⅠとは　授業内容

良好な人間関係形成に向けての取組み

・自己理解を深めるとともに、対人スキルを学ぶことで、周囲と良好な人間関係を築くことができる

＊自己理解を深める　→苦手なこと　得意なこと

＊自己肯定感を育む　→受容型会話

＊自立を図るために必要な態度、習慣の育成

また今度　／　ファイリング　／約束ごとを守る

●共に学び共に育つ教育　教員の喜び

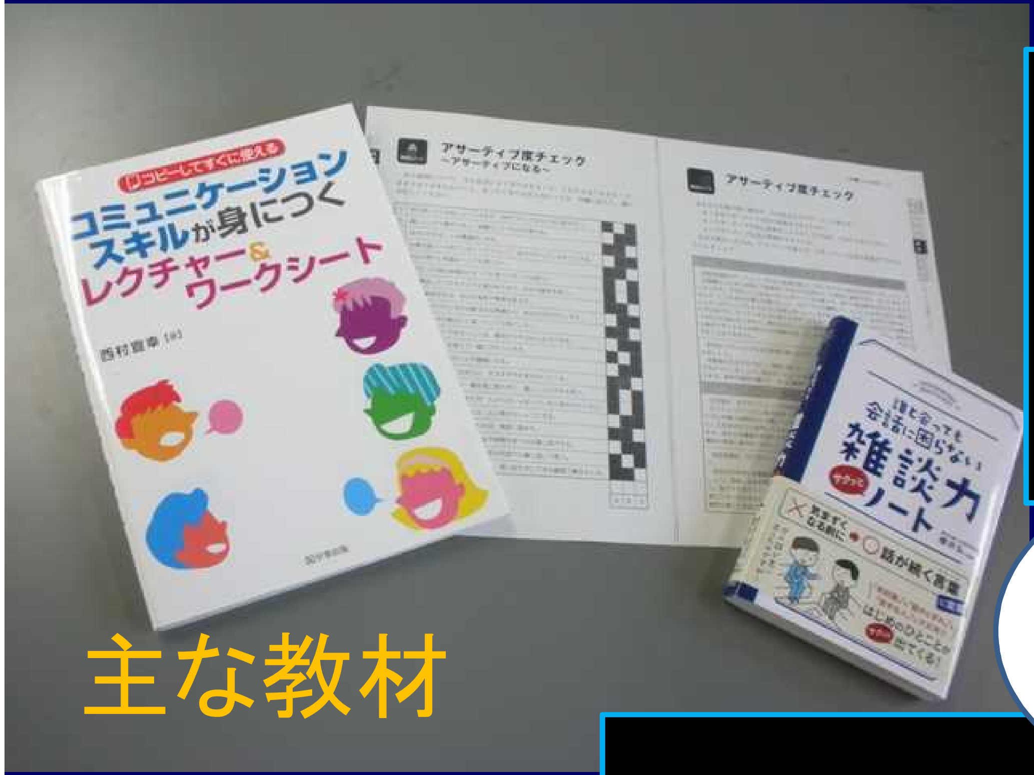
生徒の笑顔を初めて見た！生徒が起きてくれた！

コミュニケーションⅠ

ねらい

正しく伝え、主張する自己理解を広げる

社会的自立や社会性の獲得を図る領域



主な教材

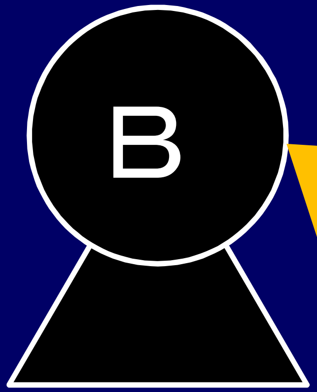
ロールプレイしよう

雑談をしよう

主な内容

・上手な伝え方
・人の話を聞くコツ　表情
・空気を読める人になろう

生徒の発言



自分がどのくらいうちきなのか感じた

自分は言わなすぎると思った

まず支援者との関係性を作る！
体験や実習の報告など効果がある
おとなしすぎる自分に気が付く
来年はソーシャルスタディに一本化

ソーシャルスタディⅠとは

社会参加・社会福祉体験準備　内容

社会体験を通し、自己の進路を考える取組

・様々な場所で体験的授業を行うことで、社会性を身につけ、自分の将来について考える力を養う

＊自己理解を深める　→「仕事」理解の整理

＊自己肯定感を育む　→認めてもらうこととは

＊自立を図るために必要な技能の育成

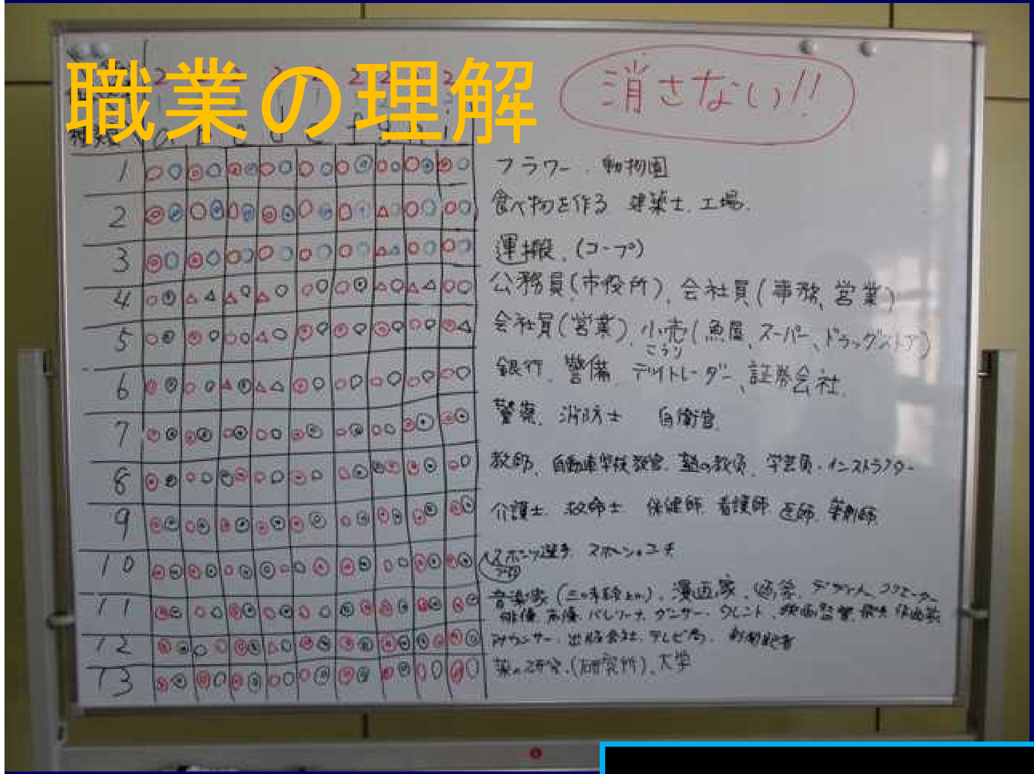
校内清掃やってみよう　インターンシップ

●共に学び共に育つ教育

→モデリング、スモールステップのスキルの獲得

ソーシャルスタディ

内容



生活能力の向上を図るための領域

教材「見て分かるビジネスマナー」

PC検定５級

清掃作業検定…12月

冬季福祉実習体験

主な内容

・自分が得意なこと、苦手なこと

・仕事に必要なことは何か

・自分が就きたい職業とは…

生徒の発言

B

あらためて自分の得意なこと苦手なことが理解ができた。

C

自分がよく理解できた、

2人の間に会話が！
まだまだ小声、不遠慮も

次年度は社会体験に一本化する予定

思い切って2年生の社会参加体験を実施

正規の時間割外の夏季･冬季の体験学習

＜Hさんの場合＞

日程：7月27日（月）～29日（水）の計3日

場所：社会福祉法人　中心会老人ホーム

内容：掃除、窓拭き、食事の配膳･下膳、
花壇の水やり、洗濯物たたみなど

→2日目に発熱、ダウン

現在　冬休み体験を計画中
県立職業技術校体験計画　　模索

4，今後の課題　その1　　アセスメント

支援対象生徒の特定 ADHD傾向、LD傾向

正確なアセスメントと自尊感情の尊重

- 学業成績、出欠席では見落とす発達障害
- 中学校からの申し送りにも出てこない生徒
- 家庭でも気付いてもらえなかった発達障害

「相当期間」をかけた見極め　背景の理解

専門者による見極め、諸検査の実施

- 本人・保護者の理解をどう取り付けるか

ヒント　外部機関と連携したアセスメント

＊Ｋ－ＡＢＣⅡ心理検査等とその振り返り

生徒の実態を客観的に把握するための手立て

◎特別支援学校との連携

特別支援学校総括教諭による領域担当者の振り返り

◎児相との連携

問題行動が糸口
家族関係の修復
家族支援

4、今後の課題　その２　校内体制整備

校内体制・校内組織作り　県教委の定数加配

- 教職員のインクルーシブ教育システム理解
  効果的な研修　県外先進校視察　学会派遣
- 個別の教育支援計画の立案、作成
  「一斉指導一斉評価の壁」を突き崩す
- 教科専門性という壁　、「領域」にどう結ぶか
- 視覚提示、キーボード入力の可能性追求
- 「戻り先の所属クラス」の授業改善の推進

教職員研修、教職員の変容

昨年第1回研修会　自由記述部分　学校づくり

- 普通高校は上級学校進学を目指すコースだと思う。支援教育は、特別支援学級や特別支援学校で行うものだと思う。

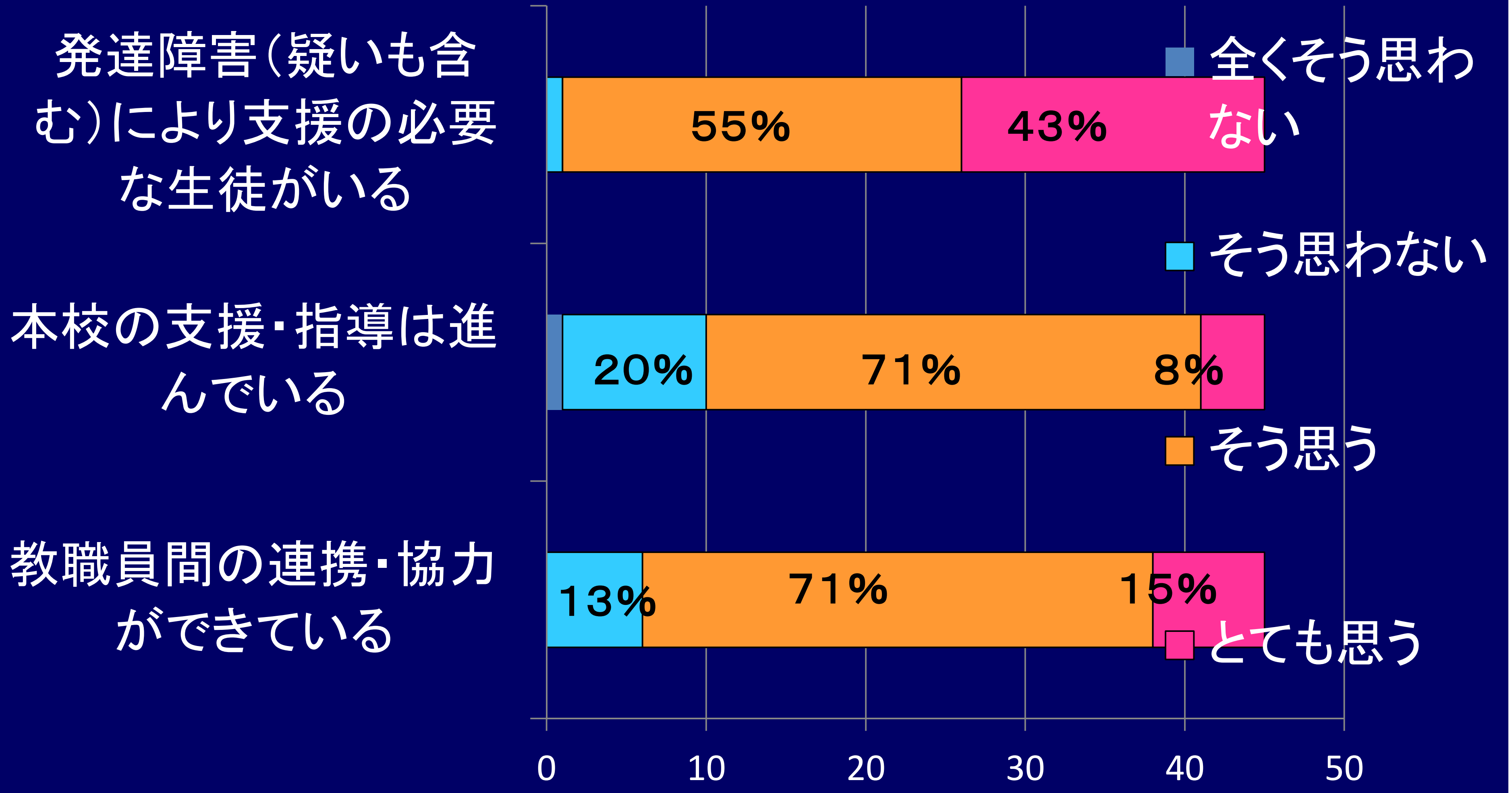
昨年第5回研修会　自由記述部分

- 「支援教育」と言われると壁を感じるが、実際の生徒への対応事例を聞くと少しの工夫で良いことがわかり納得した。

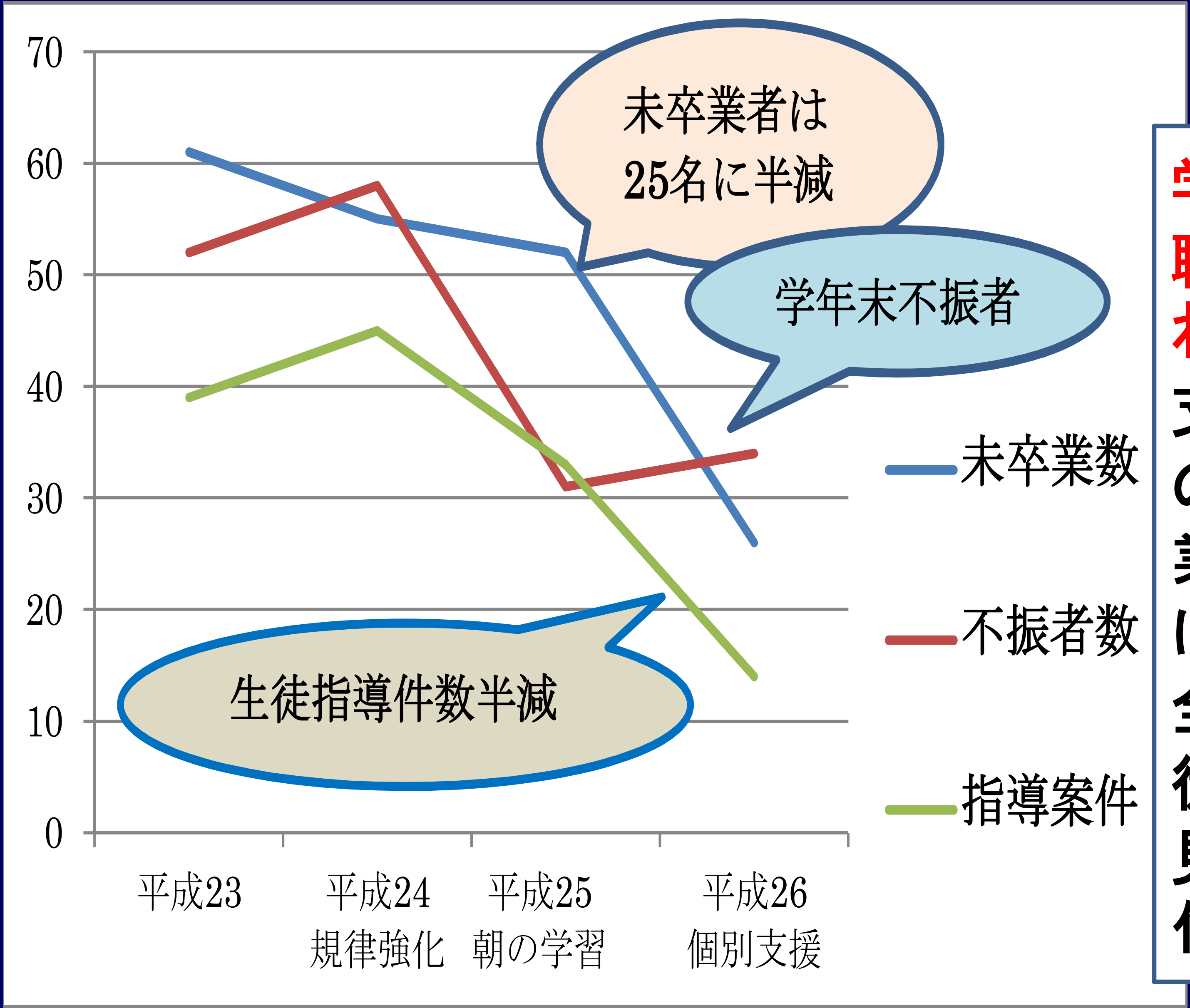
個別卒業式実施後　合理的配慮の理解広まる

教職員の意識・理解

平成27年度第1回アンケート結果より



３年間の土台作りと個別支援強化の検証



学校が、教職員が変わり始める

支援生徒の進級・卒業実現だけでなく、全体の生徒が目に見えて変化する！

校内組織整備　チーム綾瀬西　学校づくり

教職員　＋　外部支援員　学生･有識者

特別支援学校経験者

学習支援G	進路支援G	広報情報G	学校運営G	支援教育G	生活支援G	生徒活動G

研究開発メンバー

研究開発メンバー

教科代表研究開発メンバー
→チーム綾西

研究開発メンバー

視覚提示手法
個別指導計画
教科連携･調整
支援環境整備
評価方法工夫

外部支援者の有効な活用方法の検討

●自立支援員･学習支援員登録者　13名

【自立支援員】→【**合理的配慮協力員**】名称の変更
大学･研究機関の専門家としてのスーパーバイズ、教員免許を活用した個別･TTによる教科指導等、各種資格を活用した支援（進路支援含む）

【学習支援員】
主に教員の行う教科指導の補助業務
ピアカウンセリング

●スクールカウンセラー、スクールメンター

●学習支援員や自立活動アドバイザーとの協働

《学習支援員》

[redacted]				先生	担当 [redacted]
	月	火	水	木	金
1					打合わせ 9:30
2					2－1今田
3					1－5江成
4					2－7村木
5					2－5総合
6					打合わせ 14:30
放課後					

《自立活動アドバイザー》

- 特別支援学校経験者
  領域授業でTT指導
- 大学及び研究機関の
  関係者
- 講演会講師やスーパーバイザーとして依頼

現課題　個別の指導計画と「領域」評価

学習支援グループからの要請として

→「領域」の通知票記載は難しい。
別紙で評価、欠時数を本人・保護者に伝える方法がよいか

領域担当者会議での合意事項

→評価形式の検討。段階的に書式の整理、作成を行う。（普通高校では教科別の指導計画があるのみ、個別の指導計画は難しい。）

「領域」通知票作りの試行錯誤

平成27年度　領域通知票(1学期)

2年　5組　1[redacted]

領域名(単位数)		学習内容	学習の様子	欠席時数 1学期	欠席時数 2学期	欠席時数 3学期	欠席時数 合計
リベラルベーシック[(4)	国語	ニュース雑誌を読み、内容をまとめ、自ら意見を述べる。	熱心に取り組むことができた。				
	数学	・九九の練習 ・2ケタのかけ算 ・小数点と10^{n}のかけ算 ・正の数、負の数の計算	熱心に取り組むことができた。	1			1
	英語	・身近な単語や表現の学習。 ・日常会話表現の学習。	熱心に取り組むことができた。				
ソーシャルスタディー(2)		<自己理解> ・自分の得意なこと、苦手なことを知る。 ・身だしなみについて考える。 <職業とビジネスマナー> ・働く上で必要な知識や対応、マナーを知る。	熱心に取り組むことができた。	0			0
コミュニケーション[(2)		<よい人間関係を築くためのコミュニケーションの取り方を学ぶ> ・自分のコミュニケーションの特性を知る。 ・相手に応じた話し方を考える。 ・気軽に会話を交わすための雑談の仕方について考える。	熱心に取り組むことができた。	0			0

学習内容

学習の様子

欠席時数

【今後の課題】

・本人の実態、それに基づいた目標の設定などを段階的に加え、 領域分野の個別の指導計画として書式を整える必要がある。

4, 今後の課題　その3　進路保障

社会接続と外部機関との連携強化

・「学校から社会・職業への移行」が
円滑に行われない

・卒業のための支援ではなく、社会接続
のための支援、である

「今後の学校におけるキャリア教育・
職業教育の在り方について」
中央教育審議会答申

平成26年度の試み

社会接続に向けた取り組み開始

若者サポートステーションとの連携

キャリアコンサルタントのOBさんの来校

キャリアカウンセリングの実施

・県立職業技術校との連携事業

・特例子会社、引きこもり支援との連携事業

卒業後の荒波

支援生徒の将来見通しの曖昧さ

１　進路先との接続の弱さ

→卒業させっぱなし

ミスマッチング

フォローが機能しない現状

２　中長期の支援体制の未整備

３　大学等進学後の漂流・引きこもり

４　社会の中核人材の育成という視点作り

５　加速度的な社会変容・家族変容

4、今後の課題　その4　授業改善

組織的授業改善の推進　一斉授業の見直し

○取り出し授業や支援任せにしない、誰にもわかりやすく、学び合える授業　発問、音読効果

○聞く、聞かせる授業から、視認性の高い授業へ

ICT活用授業　スマホ、書画カメラの活用

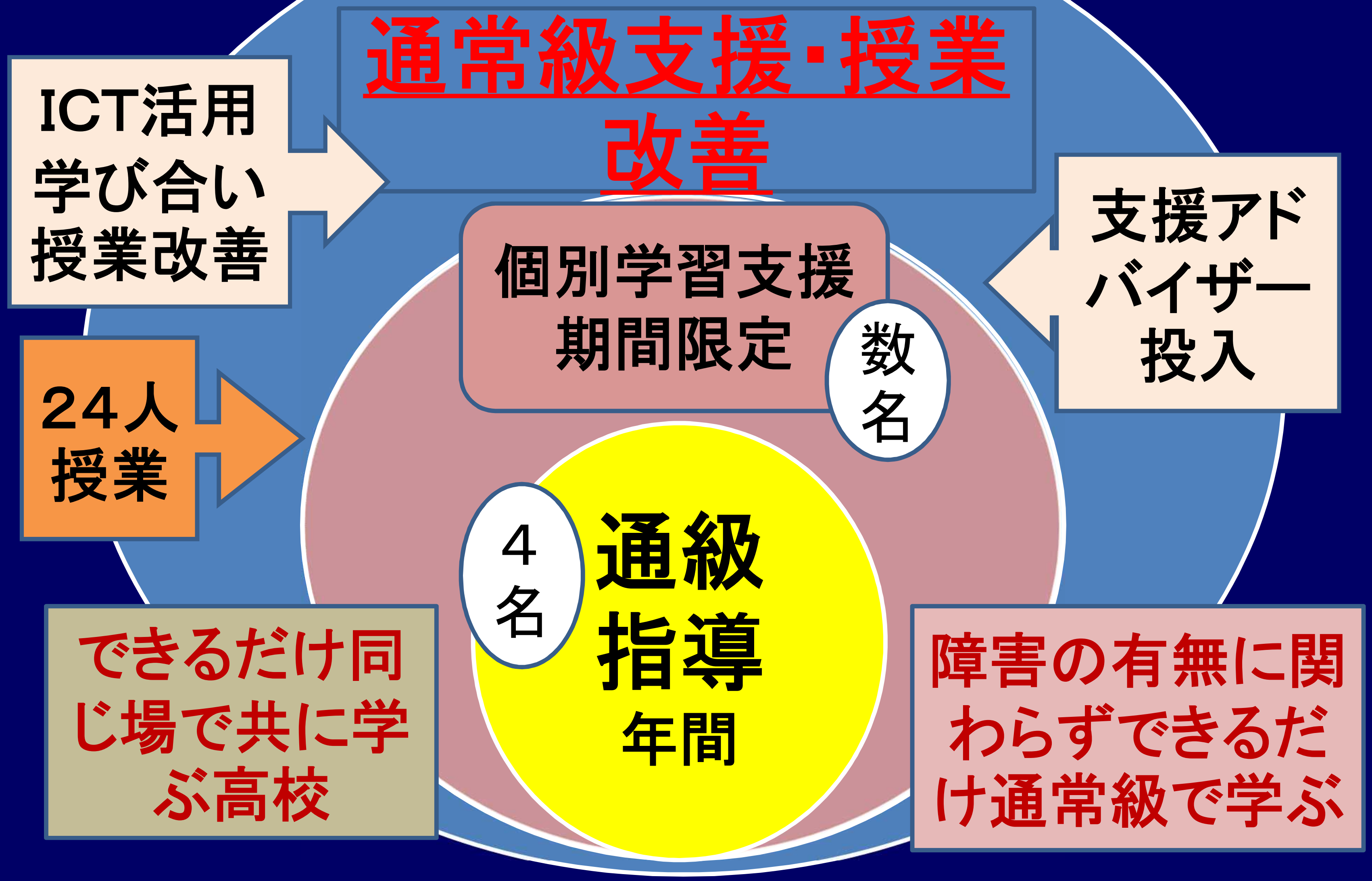
○つまずきのある生徒も受け入れられる親和性の高いクラス作り、人権教育、人権感覚

複数担任制　発達障害への理解あるクラス

クラス生徒人数　スムーズな取出し授業体制

●支援教育の充実のため通常授業の改善が必要

綾瀬西のインクルーシブ教育概念



ご清聴ありがとうございました